



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年 10月4日 No.193

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM

Community
Museum
地域の宝 学校の宝

ワイングラス!?は 塩をつくるための道具 美濃ヶ浜遺跡

秋穂コミュニティセンター、山口市立大海小学校で出前授業を行いました。二島の秋穂半島の先端部に美濃ヶ浜遺跡があります。旧石器時代から縄文時代、古墳時代に関わる遺跡です。この遺跡で、有名な出土品として美濃ヶ浜式製塩土器があります。塩は生きていく上で絶対に必要なものですが、日本では海水から作り出す製塩方法が中心です。濃度の濃い塩水を作り、それを煮詰めて塩の結晶にします。そのために使う土器が製塩土器ですが、美濃ヶ浜遺跡の製塩土器はとて特徴的です。深鉢に棒状の脚部がつき、ワイングラスのような形をしています。土器の中に濃い海水を入れ砂に突き立て、煮沸して結晶塩を取り出していたと考えられます。製塩の時期によって脚部の長さや形に変化があり、美濃ヶ浜式として調べる目安となっています。



美濃ヶ浜式製塩土器(模造)



製塩土器(脚部)



美濃ヶ浜遺跡



美濃ヶ浜遺跡

イギリスに密航留学した「長州ファイブ(長州五傑)」の1人に秋穂出身の山尾庸三(1837~1917)がいます。庸三は、周防国吉敷郡二島村(現在山口市秋穂二島)に生まれ、少年時代は3里離れた小郡の寺子屋に通いました。20歳の時、江戸の道場練兵館へ入塾し、塾頭であった桂小五郎(木戸孝允)と出会います。勝海舟の私塾では航海術を学びました。また、庸三に学費を届けたのは同郷の大村益次郎でした。攘夷運動に加わり高杉晋作らとイギリス公使館焼き討ちを実行しました。1863年伊藤俊輔(伊藤博文)らと西洋技術の習得のため、イギリスへ密航をします。庸三は造船所の見習い工として造船技術を学びます。その際、手話に出会い、後に特別支援教育に関わることとなります。5年間の留学を終えると、日本に工業を興すため明治政府に出仕し、工部省の設立に携わりました。また、人材育成のため、工学寮(後の工部大学校、現東京大学工学部)を創設しました。庸三は、「生きた器械になる」決意を全うしたのです。

参考文献『山尾庸三傳』兼清正徳



山尾庸三写真部分(華族画報)



山尾庸三旧宅(秋穂二島)



長州五傑顕彰碑(二島中学校)

山口博物館では、美濃ヶ浜遺跡の出土品を保存しています。ホームページで確認することができます。